

# こくりにゆうだより



5月号

大阪府立桜塚高等学校 2年 木村凜  
「鮮やかで元気の出るような色を選んで塗りました!」



## 今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



## 子どもに教える日本語講座



6月4日(土) 13:00~16:00

**内容:** 外国にルーツを持つ小・中学生を対象に、算数・数学などの教科学習につなげるための日本語を教える方法を学ぶ。

**講師:** ボランティアグループ『とよなかJSL』 田中薫さんほか

**会場:** 中央公民館 (曾根東町3丁目7-3) ※申込先と会場が異なりますので、ご注意ください。

**対象:** 学校や地域で子どもに日本語を教えている人、興味のある人

**定員:** 20人(要申込・先着順)

**参加費:** 無料

**申込:** とよなか国際交流センターに電話・来館・メールで受付。(※申込・問合せ先は裏面下部参照)





3/19(土)

## パンソリライブを開催しました！

とよなか国際交流センターと(一財)とよなか人権文化まちづくり協会の共催で『パンソリを楽しもう！安聖民パンソリライブ～Part2～』を人権平和センター豊中で開催しました。昨年に引き続き唱者の安聖民(アンソンミン)さん、鼓手の李昌燮(イチャンソプ)さんのお二人にお越しいただき、当日は100人が参加しました。



当日会場のようす

今年も演目は4つ。一つ目は短歌『白髪歌(ペッパルガ)』から始まり、安聖民さんの軽快なトークを挟みながらのライブは『水宮歌(スグンガ)』『興甫歌(フンボガ)』と続き、最後は民謡『あのノルブが両手に餅を持って』を会場の皆さんと一緒に手振りを合わせながら楽しみ、大盛況のうちに終了いたしました。

寄せられた感想では生のパンソリを聴いてみたくて初めて参加した方、前回のライブに感動して今年も参加した方など、多くの方に楽しんでいただけたようです。今後も幅広い世代の方たちが楽しめるような企画を考えて実施していきたいと思います。(協会職員・御園美由紀)

## 3/26(土) おまつり地球一周クラブ チョアチョアコリアを開催しました！

『おまつり地球一周クラブ』は近隣地域に住む外国人を講師に迎え、交流しながら様々な国や地域について学ぶ小中学生のための国際理解プログラムです。3月26日実施の韓国編『チョアチョアコリア』には14人の子どもたちが参加しました。



折り紙を使って  
民族衣装(韓服)作り！

講師のイムスジョンさんは豊中市立小学校で韓国文化を紹介するプログラムにも参加しているのですが、「学校で受けたスジョンさんのレッスンが楽しかったので、また会いたくて来ました」という参加者や「K-POPが好きなので、韓国のことをもっと知りたいです」など、すでに韓国に興味津々な参加者も複数いました。

スジョンさんから韓国の文化について紹介いただいた後は、折り紙で民族衣装(韓服)作りにチャレンジ。低学年の参加者もボランティアに助けをもらいながら上手に完成させていました。韓国語に触れる時間では、ハングル表を見ながら自分の名前を書いたり、講師と一緒に簡単な挨拶を練習したり、動画を観ながら参加者も体を動かしたりと、終始五感を使い楽しく体験することができました。

2021年度のおまつり地球一周クラブは、感染対策を万全にしながら5回のプログラムを行うことができました。様々な国・地域出身の講師と出会い交流することを通して、子どもたちが「世界には多様な考え方がある」ということに気づき広い視野を持ってもらえるようなきっかけとなる企画を、今後も計画・実施していきたいと思います。(協会職員・大庭みゆき)



かわいく作れました！

## 3/27(日) 国流シネマカフェ『ボス・ベイビー』を上映しました

センターが空調設備改修工事で使えないこともあり、センターを飛び出しての出張開催となりました。会場となった千里公民館周辺の豊中市北東部は子育て世代が多いイメージがありますが、実は市内でも最も外国にルーツを持つ子どもが多く暮らす地域でもあります。

今回の上映作品は『ボス・ベイビー』。昨年シリーズ2作目が公開されたこともあり人気が高く、10歳未満から70代まで幅広い参加者が来場しました。上映後アンケート満足度も、97.6%の人が「とても満足・どちらかといえば満足」と回答があり、「また子ども連れでチャレンジします」、次回上映作品についても「多文化共生についての映画が観たい」という声が寄せられました。

当日はインターンの学生と、子ども事業の参加者もスタッフとして活躍してくれました。今年度、哲学カフェや他の協会事業とのコラボ企画も開催予定です。どうぞお楽しみに！(協会職員・三木幸美)





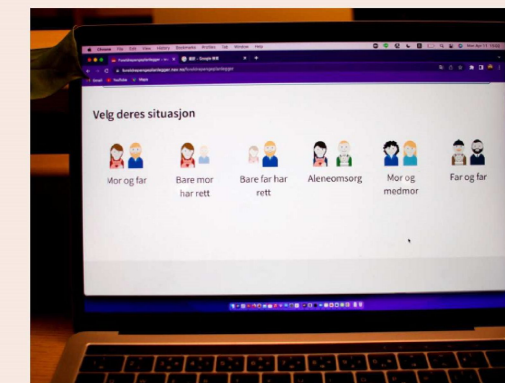
子どもサポート事業（学習支援サンアレイス）でボランティアをしていた岩根あずまさんが、2020年7月よりノルウェーで生活されています。日本から遠く離れた地での生活や現地の様子について、あずまさんにレポートしていただきます！

世界経済フォーラムなどが発表するジェンダー・ギャップ・レポートなどでノルウェーを含めた北欧諸国は毎年、ジェンダーギャップが少ない（＝ジェンダー平等により近い）社会であることが示されています。これは数値として表れているだけでなく、日々の生活の中でもジェンダー平等が促進されていると感じる側面がたくさんあります。今回はその一部をご紹介します。

私が、ノルウェー社会におけるジェンダー平等をより強く実感したのは昨年の選挙の際でした。ノルウェーでは昨年の選挙で政権交代が起こり、2021年10月に新たな内閣が発足しました。新内閣は男性が9人、女性が10人で、これだけでも日本の内閣とは比べ物にならないくらい女性の比率が高いことがわかります。また、法務・公安大臣は1993年生まれのまだ20代の女性が務めており、さまざまな年代の声が政治に反映されているのかなと感じました。

前政権は保守政党が務めていましたが、内閣の男女比はほぼ半々でしたし、首相は女性が務めていました。政党の保守派、革新派とは関わりなく、政治の意思決定の場で女性の発言のチャンスが多いことが日本社会とは大きく異なるなと感じました。

また、育児休暇の取得などをはじめとする制度からも、男性と女性の間でのケアワークや家事労働の分担がより平等になされるように促されていると感じます。例えば、男女のカップルが12ヶ月の育児休暇を取る場合、男性と女性それぞれが最低でも4ヶ月ずつ育児休暇を取ることが定められています。私の知人で4ヶ月の育児休暇をとった男性の話を知りました。彼自身、男性が育児をすることを良しとしない文化の中で育ってきた中で、育児休暇取得前は育児を担うことへの意識が低かったそうです。しかし、育児休暇を通じて、今ではパートナーと共に育児の責任を担う意識が根付き、育児休暇が子育てに対しての責任や意識を作っていく重要な機会になったと言っていました。



子育てに関してどんなサービスを受けられるか確認できる国のウェブサイト。「父と母」「父と父」「母と母」など様々な家族の形態に沿って確認できます。

とはいえ、ノルウェーにおいてもジェンダー平等が完全に実現されているわけではありません。ジェンダーによる賃金の格差やそれに関連して最低金額の年金しかもらえない女性の割合が男性と比較して高いこと、大企業における女性CEOの割合の低さなどが指摘されています。そのため、完全なジェンダー平等に向けて、まだまだ課題も多いのが現実です。また、無償のケアワークや家事労働に関しては、多くの国や地域で女性の負担が大きい状態が続いており、ノルウェーでもこの部分に関して完全な平等が実現できていないという報告もあります。そういった中でも、仕組みを整えることで、ジェンダー平等が社会の「あたりまえ」になっていく、制度作りの重要性が見えたような気がしました。



平日の図書館、有休を取ったりして子どもとの時間を過ごす男性の姿もたくさんみえます。

## 報告 / 空調設備改修工事も折り返し地点に差し掛かりました

2021年11月1日(月)より空調設備改修工事のため、とよなか国際交流センターの一部休館および貸室利用を中止しています。現在、前半A工区の工事が予定通り終了し、5月後半からは残り半分を対象としたB工区の工事が始まりま。エレベーター横にある事務所も、フロア内の別スペースに引っ越しをする予定です。

集客を伴うイベントについては、センター以外の公共施設を活用しながら開催していますが、多言語相談サービス・子ども若者支援事業などの事業については、センターの残りのスペースを利用して対面での開催を継続しています。

工事が終了する12月以降は、多文化フェスティバルや各種セミナーなども開催予定です。貸室予約についての案内も6月号にて皆様にお知らせいたします。再びたくさんの方が集いにぎわうセンターを目指して、しっかり準備をしてすすめていきたいと思ひます。





2022

5月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。  
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
25	26	27	28	29	30	01 がちゃ
02 相談	03 憲法記念日	04 みどりの日 休館日	05 こどもの日	06 金あさ 相談 こんぱす	07 相談	08 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
09 もっ と 相談	10 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て支援 ボランティア養成講座 10:00~12:00	11 休館日	12 千里 木ひる 相談	13 金あさ 相談 こんぱす	14 相談	15 がちゃ サンプル 若者 南部
16 もっ と 相談	17 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て支援 ボランティア養成講座 10:00~12:00	18 休館日	19 千里 木ひる 相談 オンライン	20 金あさ 相談 こんぱす	21 ついで 相談	22 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
23 もっ と 相談	24 おやこ 相談 こんぱす 多文化子育て支援 ボランティア養成講座 10:00~12:00	25 休館日	26 千里 木ひる 相談 オンライン	27 金あさ 相談 こんぱす	28 相談	29 がちゃ サンプル 若者 南部
30 もっ と 相談	31 おやこ 相談 こんぱす					

※2021年11月~2022年11月末は大規模空調設備工事のため貸室がご利用いただけません。それに伴い、すべての貸室利用を中止いたします。

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

\*センターが主催する定例事業\*

月曜日	●もっ ともっ とつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 ●外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	●おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) ●外国人のための多言語相談 ●学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	●とよなかにほんご・木ひる ●多文化子ども保育にこにこ ●千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) ●外国人のための多言語相談 ●オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	●とよなかにほんご・金あさ ●多文化子ども保育にこにこ ●外国人のための多言語相談 ●学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	●韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※毎月第3土曜日のみ ●外国人のための多言語相談	9:30~11:30 11:00~16:00
日曜日	●にちょうがちゃがちゃだん ●子ども母語※第2,4日曜日のみ ●学習支援サンプルイス ●若者のたまりば ●南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:00~20:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

6月4日(土) 子どもに教える日本語講座

『学習日本語こんぱす』で小中学生に日本語を教えているボランティアグループ『とよなかJSL(Japanese for School Life)』は、子どもたちが1~2年で自信をもって日本語で学習できるようにカリキュラムを考案し実践を重ねています。



この講座ではその方法や実践内容を共有します。

学校や地域で子どもに日本語を教えている方、興味のある方、ぜひご参加ください!

※イベント詳細は表紙ページ下部をご覧ください。

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゆうだより」第157号(2022年5月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会  
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F  
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(水曜休館)  
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

